

## 演習シート リフレーミング（応用編）

リフレーミングとは、すでにその人が持っている意味づけや解釈を、異なる視点で捉え直すための技法です。一見、短所と思えるような特徴も、見方を変えればその人の長所だったりします。ここでは、ポジティブな表現で異なる解釈を示す「肯定的な意味を見出すリフレーミング」を学びます。

以下の場面を読んで、介護職員の部分に、リフレーミングした応答を考えてみましょう。

- 1 家族介護者「主人は、すぐに物事を決断できない人なんです。むかしから何を決めるときにも時間がかかって・・・。」  
介護職員 「 」
- 2 家族介護者「父は本当に頑固で、私たちの言うことを聞こうとしないんです。」  
介護職員 「 」
- 3 後輩職員「なんか、主任の〇さんって厳しくないですか。」  
介護職員 「 」
- 4 同僚職員「新人の〇さんって、お調子者だよな。」  
介護職員 「 」
- 5 同僚職員「同僚の〇さんって、おせっかいなところがあるよね。」  
介護職員 「 」